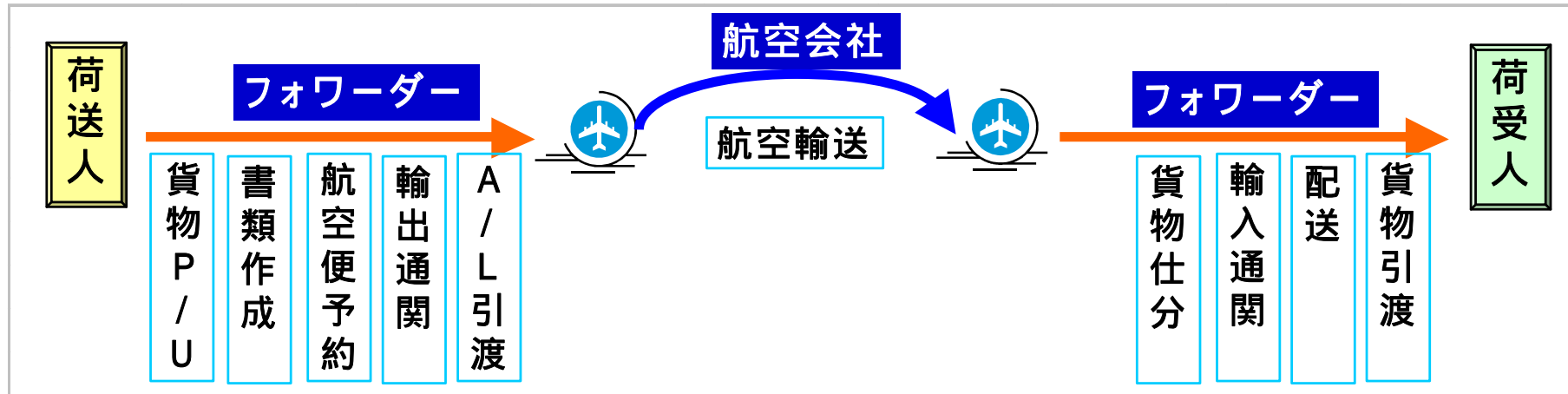


# フォワーダーの役割

混載業務	広範なフォワーダー業務
	輸出業務、輸入業務
	実運送と利用運送、混載貨物の流れ、混載貨物の契約と書類の流れ
混載業務以外の業務	IATA貨物代理店
	ロジスティクス・サービス
	貿易業務の代行
	営業・カスタマーサービス
通関の仕組み	税関の役割と通関業務
	輸出入通関の流れと税関手続き、通関の審査区分
	NACCSシステム

# 広範に亘るフォワーダーの業務



エア・フレイト・フォワーダー：航空会社を利用してドアツードア輸送を行う業者

エア・フレイト・フォワーダーの業務：運送業務：貨物の集荷・配達

混載業務：集荷、混載仕立、発送、ブレイクバルク、配達

航空会社の代理店業務：航空会社のサービスを販売、貨物を“Ready for Carriage”化

通関業務：輸出通関、輸入通関

ロジスティクス業務：自社の倉庫施設を利用して荷主のロジスティクス業務を受託

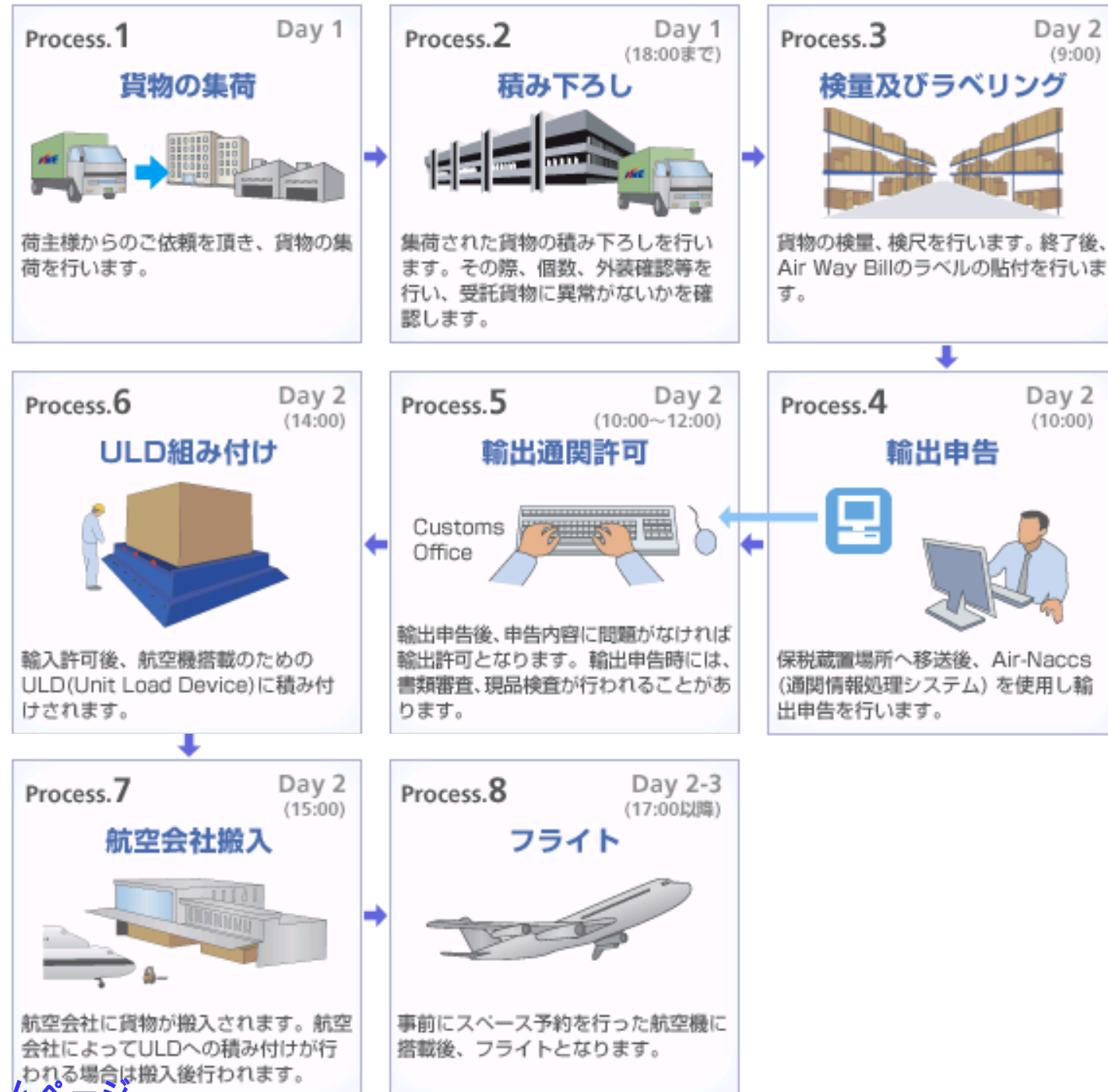
荷主の貿易業務の代行：荷主の輸出入にかかる業務を代行

エア・フレイト・フォワーダーの役割の変化：

- ↓
- 航空貨物代理店(IATA Cargo Agent)
  - 利用航空運送事業者、混載業者(Freight Forwarder)
  - ロジスティクス・サービス提供者(Logistics Service Provider)

リンク：[日本通運\(動画\)](#) [郵船ロジスティクス\(動画\)](#) [近鉄エクスプレス\(動画\)](#)

# フォワーダー の業務 <輸出>



# フォワーダー の業務 < 輸入 >


**Process.1** Day 1 (1~2時間)  
**到着**



成田空港


到着貨物は成田空港の保税地域に搬入されます。

**Process.2** Day 1 (2~3時間)  
**積み下ろし**




ULDから積み下ろされた貨物は、個数や梱包状態など必要な項目のチェックを受けます。

**Process.3** Day 2 (2~3時間)  
**搬入**



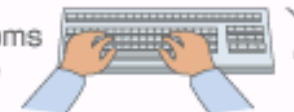
貨物は保税蔵地場に搬入され、税関・航空会社・保税蔵置場・通関業者を結ぶAir-Naccsというシステムに情報を入力されます。

**Process.6** Day 2 (3~4時間)  
**搬出**



輸入許可後、貨物は蔵置場所からトラックドックへ搬出されます。


**Process.5** Day 2 (1~3時間)  
**税関による検査-輸入許可**



Customs Office


申告内容に対する審査・検査が行われた後、Air-Naccsを通して輸入許可となります。(税関立ち会い検査の場合は、5~6時間程遅くなります)

**Process.4** Day 2 (2~3時間)  
**輸入申告**



保税蔵置場に搬入された貨物は輸入申告にかけられます。

**Process.7** Day 2 (0.5時間)  
**積み込み**



貨物はトラックへ積み込まれます。

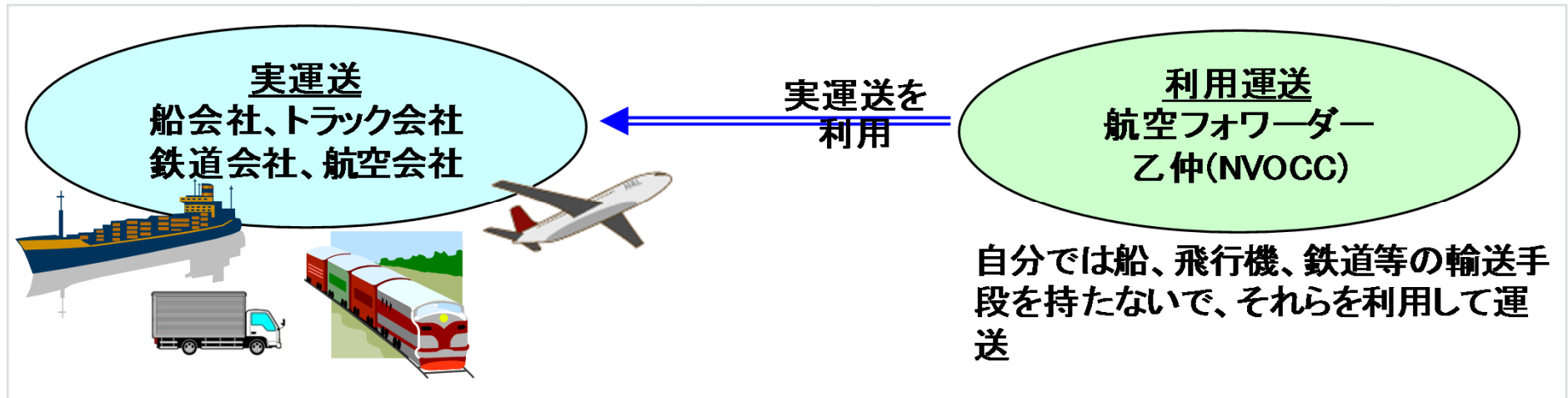
**Process.8** Day 3  
**配達**



お客様のお手元に配達完了致します。

# 実運送と利用運送、混載貨物

## 実運送と利用運送



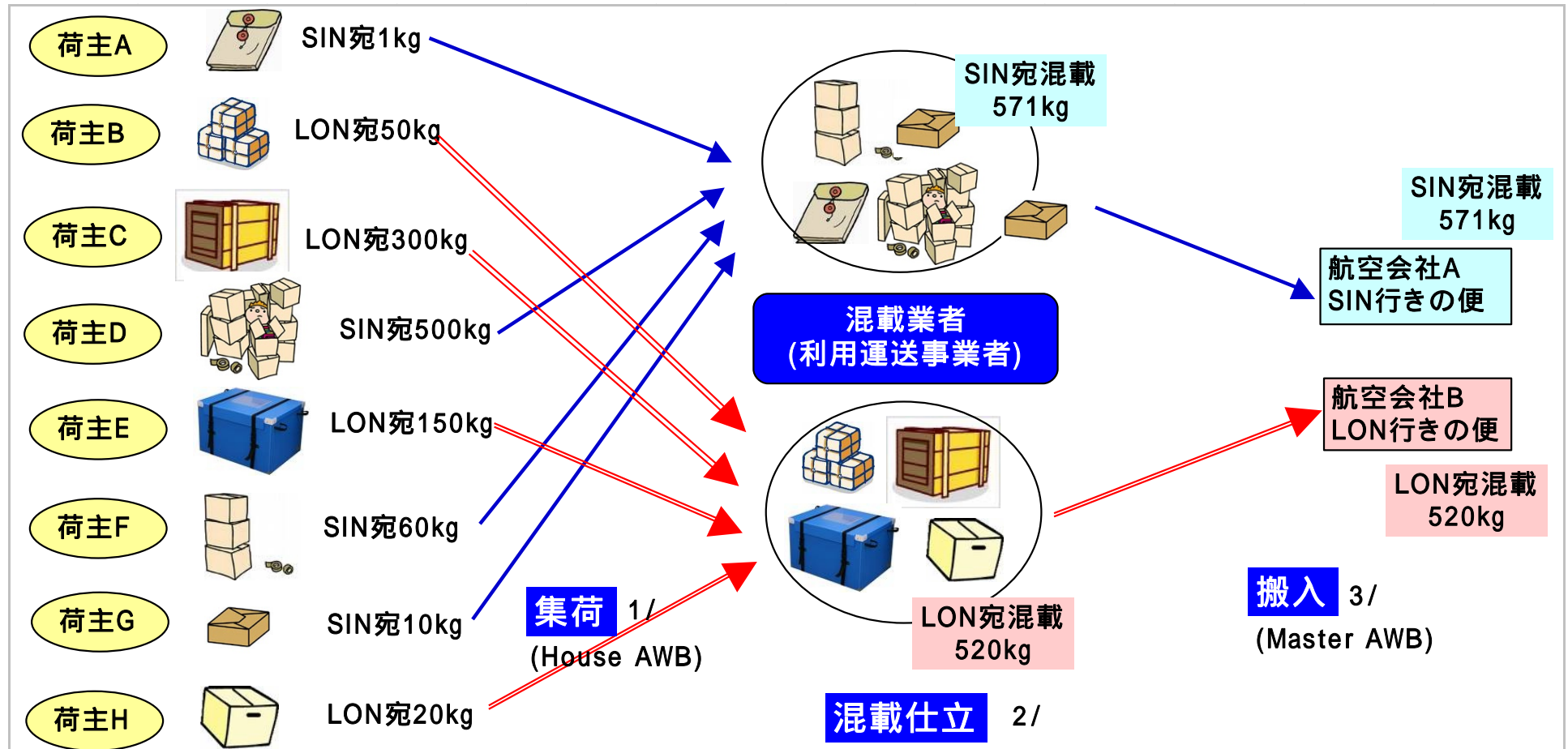
## 混載貨物



[リンク : 日本の主要フォワーダー](#)

[リンク : 世界の主要フォワーダー](#)

# 混載貨物の流れ

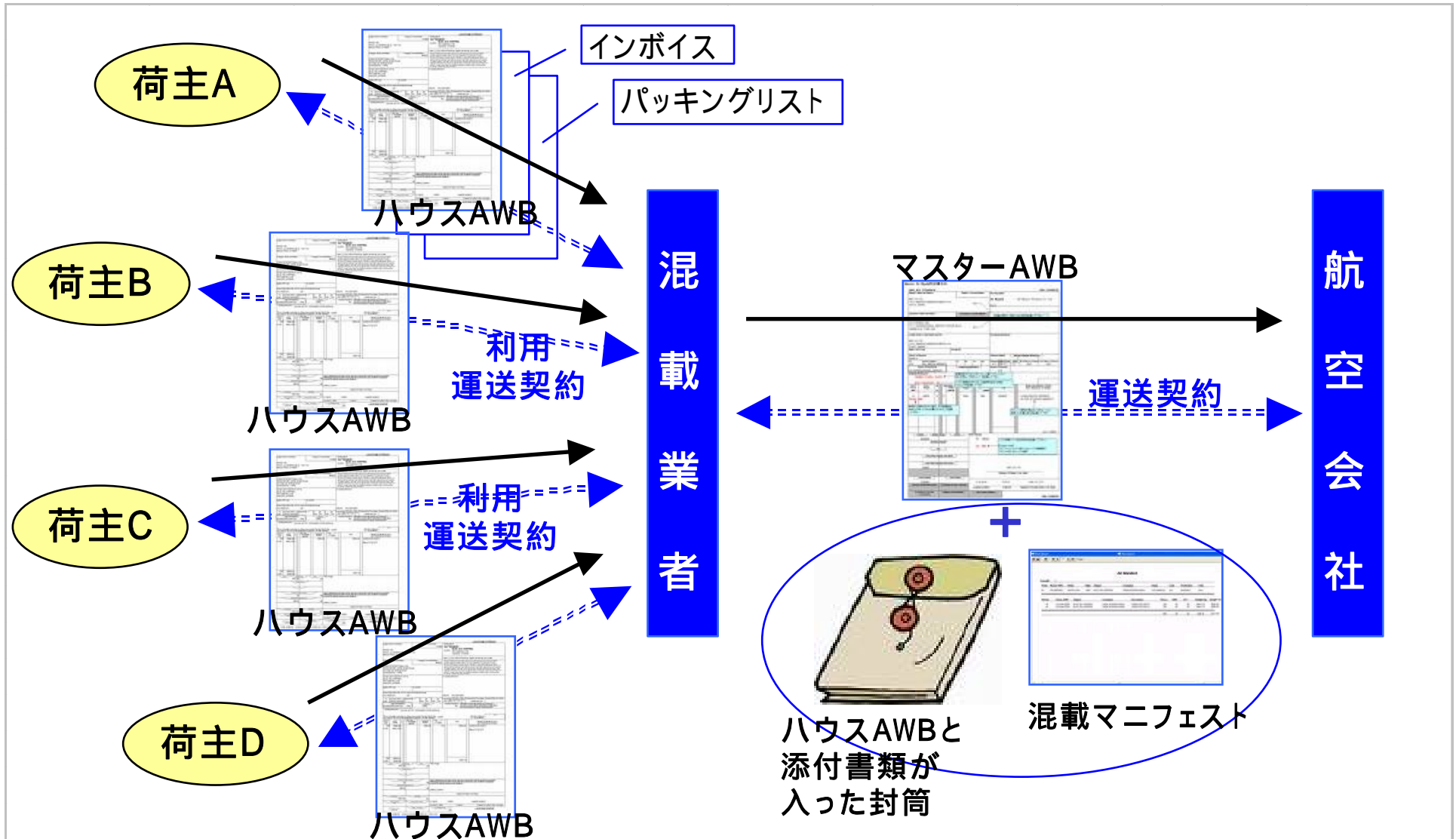


- (注) 1/混載業者は荷主と利用運送契約を結び、貨物を集荷する。航空会社運賃より安い混載運賃が適用される。  
 2/混載業者は集荷してきた貨物を宛地別に仕分けて、一括して出荷できるように準備する。  
 3/混載業者は宛地毎にまとめた貨物を一括して航空会社に搬入する。混載業者は、貨物を集めて大口貨物とすることにより、より安い航空会社運賃を利用できる。

リンク：[混載スケジュール](#)    [混載貨物の割合と宛先地域](#)    [混載差益](#)

# 混載貨物の契約と書類の流れ

運送契約、ハウスAWB、マスターAWB、混載マニフェスト



# IATA貨物代理店



**IATA Approved Cargo Agent** : IATA公認貨物代理店(IATA航空会社の代理店)

IATAが申請者の資格を審査し、公認する。

資格審査:IATAが定める要件1/を満たしているかを審査

**IATA代理店の任務:**

航空会社の航空輸送サービス(商品)を利用者(荷主)に販売  
貨物を“Ready for Carriage”の状態にして航空会社に搬入

---

1/ 資本金、従業員数、有資格者数、事業経験、店舗、施設等に関し公認基準が定められている。

リンク : [IATA貨物代理店リスト](#)



# フォワーダーによるロジスティクス・サービス <sup>9</sup>

ロジスティクスとは、需要に対して、調達、生産、販売、物流等の供給活動を同期化させるためのマネジメント(日本ロジスティクスシステム協会)

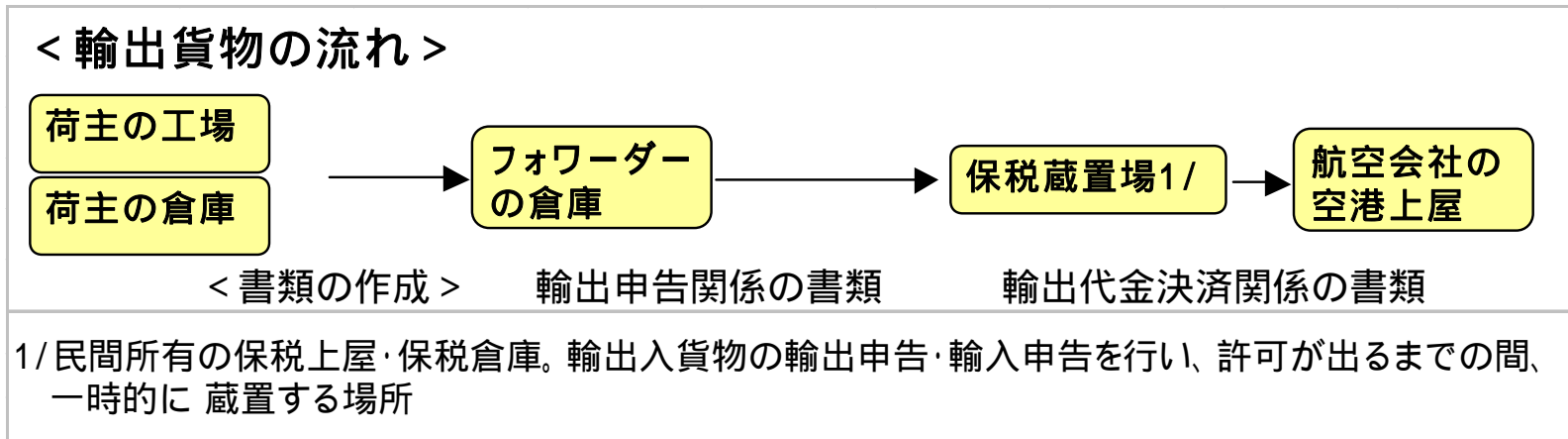
一部のフォワーダーは自社倉庫を利用して、荷主企業のロジスティクス業務を受託し、流通加工(仕分け、梱包、ラベル貼り、検品、キitting等)を行ったり、製品および部品の在庫管理、配送等を行っている。



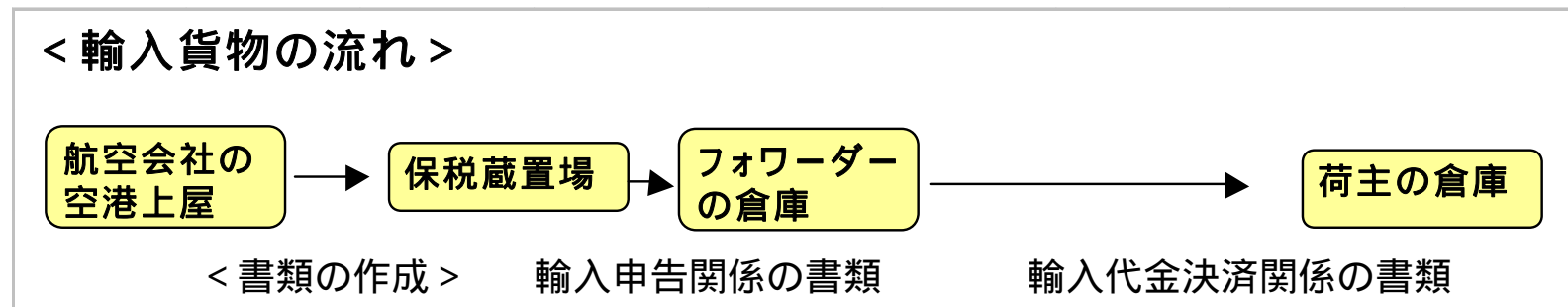
# フォワーダーによる貿易業務の代行

## (荷主の輸出入業務をフォワーダーが代行)

**輸出関係：** 輸出者は、インボイス他の必要な書類を作成し、運輸保険をかける。輸出貨物を保税地域に搬入して輸出申告し、輸出許可を受ける。また、輸出者は輸出代金の決済のための業務を行う。



**輸入関係：** 輸入者は、海外から到着して保税地域に搬入された貨物について、必要な書類を整えて、輸入申告し、輸入許可を受ける。



[リンク：コマーシャル・インボイス](#)

# フォワーダーの営業・カスタマーサービス業務

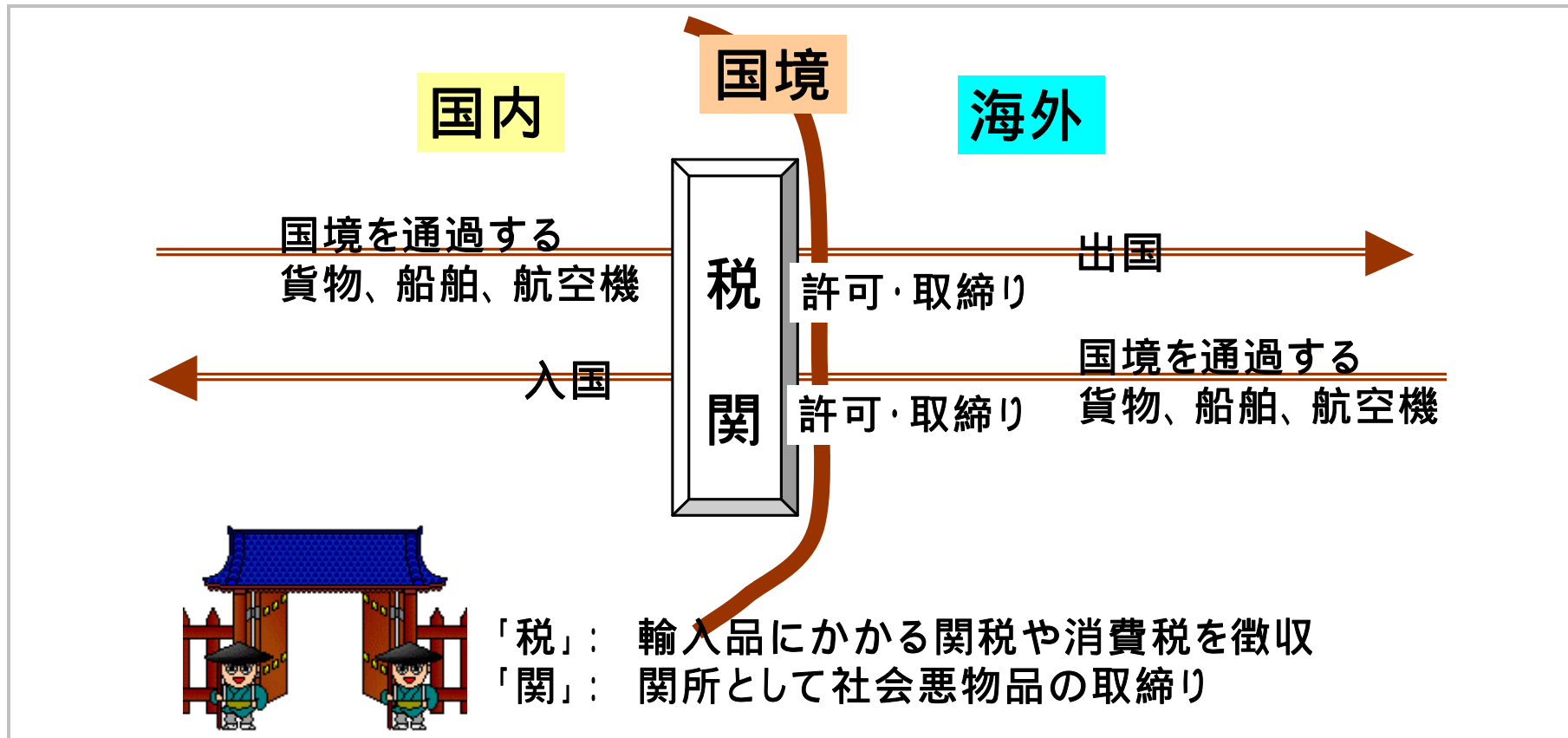
11

**輸出営業・カスタマーサービス業務**：貨物を輸出しようとするお客様(輸出者)からお預かりした貨物を輸入者の手元まで運ぶ、そのすべてのコーディネートをするのが営業・カスタマーサービスの仕事です。

具体的には輸送手段・物流ルート・費用などに関して提案し、そのコーディネートをしていきます。お客様からの依頼を受けたあとは貨物の集荷・通関に必要な手続きの準備・混載部署へのフライトの予約など社内各部署への連絡を担当していきます。お客様の窓口・物流の司令塔として多くの人と関わりを持つ仕事になります。

**輸入営業・カスタマーサービス業務**：輸入するお客様(輸入者)を訪問して輸送の計画・ルート・納入方法など輸送全体の打合せを行っていきます。世界の様々な国から日本までの輸送コーディネートをいき、海外拠点に輸送の指示をします。予定していた貨物が到着するとお客様である輸入者と連絡を取り合い、通関に必要な情報や納入時期を迅速に打合せしていきます。貨物が到着してからは時間との勝負。輸入通関・配送等の指示を的確に社内各部署に依頼していきます。

# 税関の役割と通関業務



**税関の役割:** 国境を通過する貨物、船舶、航空機、旅客の携帯品などについて許可を与え、また、取締りを行う。輸入品にかかる関税や消費税を徴収する。

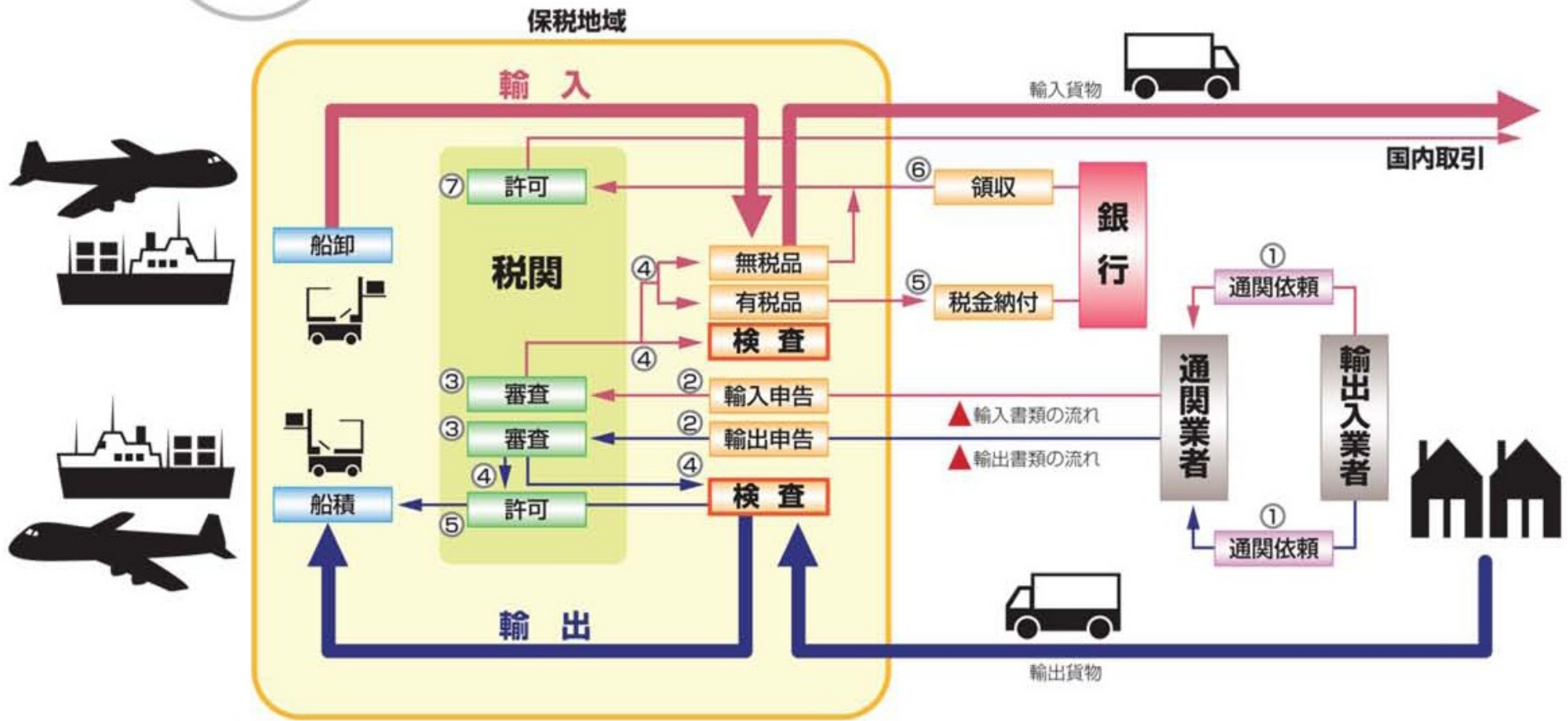
**通関業務:** 税関に対する通関手続きを行う業務

[リンク : 薬物の取締り\(動画\)](#)

[リンク : 主な商品の関税率の目安](#)

# 輸出入通関の流れと税関手続き

通関の流れ



リンク : [通関の審査区分](#)

リンク : [AEO制度](#)

出所 : 税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/>

# NACCSシステム

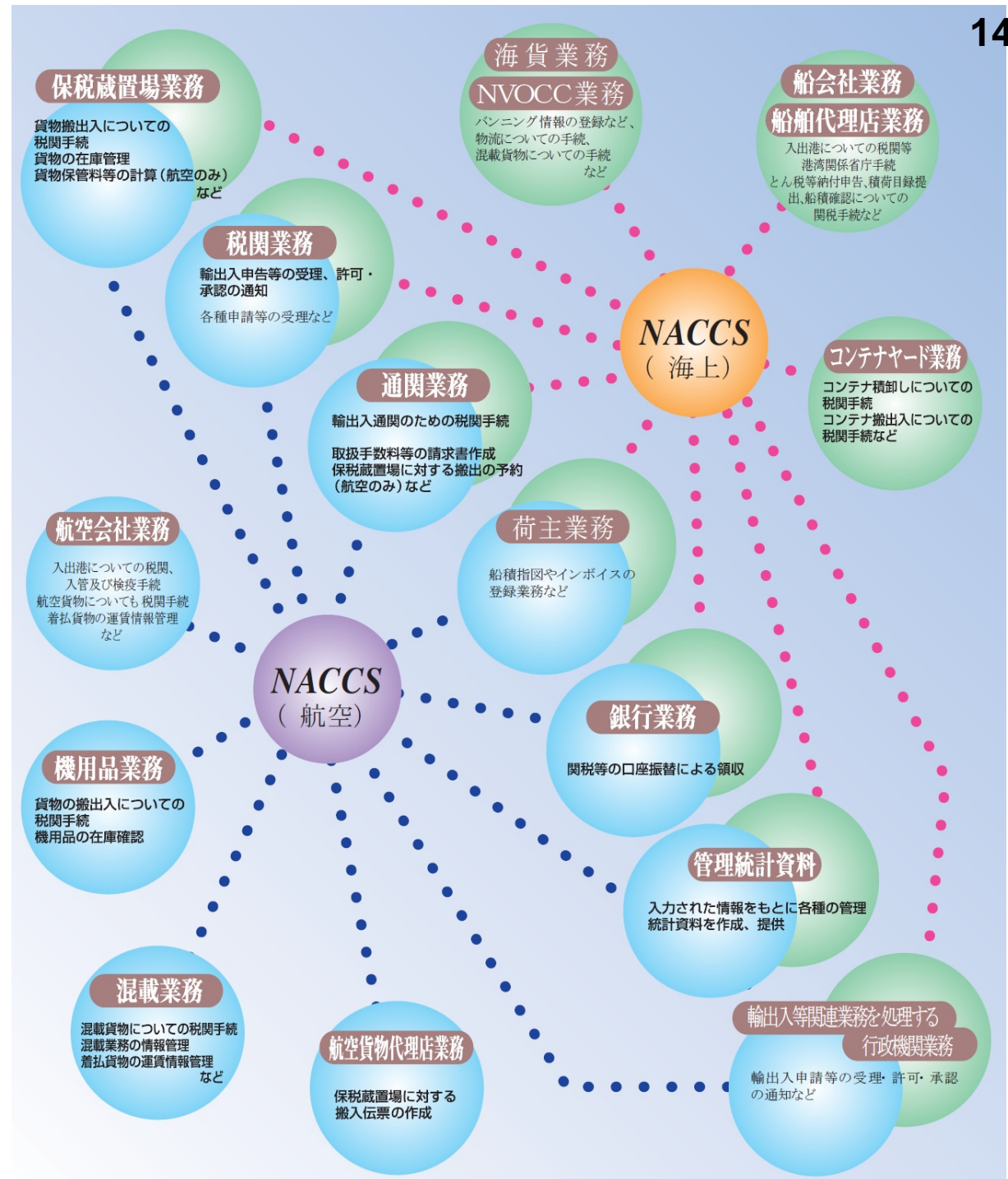
輸出入・港湾関連情報処理センター(株) Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System Inc.

NACCSシステムとは:

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社(NACCSセンター(株))が管理・運営する、港湾・空港での税関手続等輸出入・港湾関連手続を電子的に処理するシステム。

NACCSは、当初航空貨物のみが対象だったので”Nippon Air Cargo Clearance System”の略だった。その後対象を海上貨物に拡大した際に”Nippon Automated Cargo Clearance System”に変更した。更に2008年に民営化した際に港湾手続も加わったので、”Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System Inc.”に変更となった。

出所：[NACCSホームページ](#)  
リンク：[NACCS紹介動画](#)



# 航空貨物の輸出入等関連手続イメージ

航空機の入港、輸入貨物の空港到着から国内引取りするまで、輸出貨物の運送引受けから航空機搭載までの一連の税関手続及び関連民間業務をシステムで処理

